

農地流動化情報 vol.10

農業委員会では、農地の有効利用促進を図るため、売買・貸借等を希望する農地の情報を提供しています。

■ 売りたい

農家の所在地	地目	面積(a)
平上山口字田中(1筆)	田	21
好間町今新田(3筆)	田	28

ご覧になって、この農地を『買いたい』あるいは、その他手続き等の詳細を知りたいという方は農業委員会事務局までお問い合わせください。

※また、今回掲載した農地以外にも売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

お問い合わせ：農業委員会事務局
☎22-7578



耕作放棄地が菜の花畑に生まれ変わりました!

平成21年8月1日、耕作放棄地解消活動の一環として、平下高久の耕作放棄地の草刈を、農業委員と地元協力者、事務局職員の計24名で行いました。

耕うん整地後、畑に菜の花を栽培し、荒れ果てていた畑は今春、一面の菜の花畑へと姿を変えました。

今後も耕作放棄地解消活動に徹底して取り組んでまいります。



▲平成21年8月1日撮影(草刈時)



▲平成22年4月撮影



今後読みやすく、分かりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指す。編集委員一同、励んでまいります。



▲会長(下段中央)、職務代理(下段左)と編集委員一同

今日の表紙から

「食農教育」とはどんなもの?

これは、農業体験などを通じて、食の大切さについて考えていく活動であり、家庭・学校・地域などが一体となって、知識や交流を深めていくことを目的に取り組みられています。

いわき市でも、多くの学校や地域団体が食農教育について理解を深め、活動しています。その中で、今回は地域と学校が一体となつて取り組んでいる、稲作体験学習について紹介します。

5月31日(月)に、田人の貝泊コイコイ倶楽部会員の指導のもと、貝泊小・中学校の児童・生徒9名が田植えを行いました。「自分達がいつも食べているお米を作ることで、食への関心や興味を持ってもらいたい」という

思いから、今年で6年目の活動となりまふ。今回植えた苗は「ひとめぼれ」。爽やかな風が吹き抜ける中、泥に足を取られないがらも、3アールの田んぼに一生懸命苗を植えました。



の学校」の応援団に苗の植え方を教わりながら、5アールの田んぼに上手に「こがねもち」の苗を植えました。地域の農業を知り、地域との交流を深めることを目的に毎年行われており、田んぼはこれからも児童と地元住民の方で管理していきます。11月には、収穫したもち米を使用して餅つきを行う予定であり、児童達は心待ちにしているそうです。

子ども達には、この稲作体験を生かして農業の大切さや大変さを知ってもらおうと共に関後、生産者への感謝の気持ちと「食」への関心を深めてもらうことを期待しています。

(執筆 鯨岡 千春委員)



農業委員会のパンフレット

第16回「農業委員会だより」全国コンクール優秀賞受賞

第16回農業委員会だより全国コンクール(全国農業会議所・全国農業新聞主催)において、当委員会だよりが優秀賞を受賞することが出来ました。受賞にあたり「農業委員会の動きや農地関連情報、農業者の地域活動など豊富な内容が手際よくまとめられている。多用されている写真も秀逸な的確に伝え親しみやすい紙面づくりに貢献している。」との評価をいただき、感激も一入です。



▲会長(下段中央)、職務代理(下段左)と編集委員一同